



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2025年8月8日

令和7（2025）年度 第2回定例記者会見

日時：2025年8月8日（金）10:00～11:30

場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室

<記者会見項目>

- ① ダイバーシティ推進センター川柳コンテスト表彰式（別紙1）
☆活動報告及びイベント案内☆
【ダイバーシティ推進センター副センター長 沼野 利佳】
- ② 建築に関わる環境の様々な課題（別紙2）
～夏特有の課題に対する取材対応～
【建築・都市システム学系教授 田島 昌樹】
- ③ とよはし☆ロボコンズ 大阪万博に出展します！（別紙3）
～とよはし☆ロボコンズの新たな挑戦～
【機械工学課程 学部4年 杉元 優介】
- ④ 豊橋技術科学大学 学生有志チーム、「魔改造の夜 THE MUSEUM」に出展（別紙4）
【機械工学専攻 博士前期課程 2年 佐々木 健】
- ⑤ スタートアップ推進室の活動報告（別紙5）
●スタートアップ革命「技科大チャレンジ」開催のお知らせ
●スタートアップ研究会の設置
【スタートアップ推進室 特定准教授 土谷 徹】
- ⑥ 豊橋技術科学大学のロボット技術を一挙公開！（別紙6）
～TUT Robotics オープンラボ 2025～
【次世代半導体・センサ科学研究所 社会実装部門人間・ロボット共生分野】

<本件連絡先>

総務課広報・地域連携室

広報係 野本・高柳

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



2025年8月8日

ダイバーシティ推進センター川柳コンテスト表彰式**☆活動報告及びイベント案内☆**

本学では、性別、ライフスタイル、価値観、文化、人種などの違いを受け入れ、互いを尊重することについて考える機会とし、楽しみながらダイバーシティ（多様性）に対する意識を高めることを目的として「川柳コンテスト」を実施しており、今年は神保睦子 審査委員長（理事・副学長）のもと、教職員・学生で構成された審査委員会にて厳正なる審査を行い、応募作品 85 句の中から入賞作品を決定しました。

定例記者会見内で表彰式を執り行います。

◆ダイバーシティ推進センター企画「川柳コンテスト」表彰式

1. 日 時：2025年8月8日（金）10:15～10:30
2. 場 所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室
3. 出席者：若原 昭浩 学長、受賞者3名

また、表彰式後、以下のとおりダイバーシティ推進センター沼野利佳副センターからの動報告及びイベント案内をいたします。

（1）川柳コンテスト（報告）

神保睦子 審査委員長（理事・副学長）のもと、教職員・学生で構成された審査委員会にて厳正なる審査を行い、応募作品 85 句の中から入賞作品を決定しました。

（2）LGBTQ+講演会（報告）

テーマ：「LGBTQ+ 人権保障の課題 -司法の動向もふまえて-」

（3）女子学生のためのランチ交流会（報告）

学年や所属を超えて、女子学生同士のつながりを深めることを目的に、ダイバーシティ活動支援学生のメンバーが主体となり開催しました。

（4）キャリアアップセミナー（報告）

テーマ：「天職との出会いに導かれて」

（5）シンポジウム（学内向け）10月1日（水）（開催予定）

テーマ：「ダイバーシティと工学人材の社会的ニーズ」

講演会：14時00分～16時00分（A-114 講義室）

担当者：ダイバーシティ推進センター事務局 森田・橋場・上野 TEL:0532-44-6502

【ダイバーシティ推進センター URL】<https://equal.tut.ac.jp/>

ダイバーシティ推進センター

☆川柳コンテスト結果（報告）

☆LGBTQ+講演会（報告）

☆女子学生のためのランチ交流会（報告）

☆キャリアアップセミナー（報告）

☆シンポジウム開催のご案内（10月1日）

豊橋技術科学大学
ダイバーシティ推進センター副センター長
沼野 利佳

1

川柳コンテストの結果

募集期間: 5月～6月(6月23日～29日男女共同参画週間)

応募数: 85件(学生 63件、教員2件、職員 20件)

審査委員長: 神保 睦子 ダイバーシティ推進センター長

川柳受賞作品

最優秀賞（一位）

She is a woman, he is a man, but we are, all simply human.
．．．．．Siti Mawaddah Warahmahさん（学生）

優秀賞（二位）

皆の個性 重なり生まれる 新たな芽
．．．．．佐藤孝政さん（教員）

優秀賞（三位）_{よひら}

世も性も 四葩のごとく 七変化
．．．．．藤田大輝さん（学生）

入選（四位）

勉強も 遊びも全力 最適化
．．．．．松尾拓知さん（学生）

入選（五位）

口に出す 「普通」が誰かを 傷つける
．．．．．森下 遼さん（職員）

入選（六位）

平成と 昭和が令和で 笑い合う
．．．．．山本知江子さん（職員）



2

LGBTQ＋人権保障の課題－司法の動向もふまえて－

主催 豊橋技術科学大学ダイバーシティ推進センター

LGBTQ＋ 人権保障の課題 －司法の動向もふまえて－

日時 2025年1月9日(木) 14:40～16:10

場所 本学 A-114講義室

講師 三成 美保 追手門学院大学 教授
奈良女子大学 名誉教授
豊橋技術科学大学 客員教授

講師紹介

大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学・大阪大学)
1995年 摂南大学法学部専任講師
1997年 同 助教授
2004年 同 教授
2012年 国立大学法人奈良女子大学教授(研究院生活環境科学系)
2016年 同 副学長(ハラスメント防止・学生特別支援担当)
2017年 日本学術会議副会長
2021年 10月1日より本学客員教授
2022年 追手門学院大学教授



講演概要

2023年6月、LGBT理解増進法が成立しました。同法は憲法を前提とした理念法であり、SOGI差別禁止規定は持ちませんが、SOGIの多様性が尊重される包摂的な共生社会の実現を目指しています。他方、LGBTQ＋の人権を侵害する現状について、司法で違憲判断が続いています。トランスジェンダーの法的性別変更に関して生殖不能要件を憲法13条違反とした最高裁決定(2023年10月)、婚姻平等について異性婚しか認めていない現行民法を憲法14条・24条違反とした札幌高裁判決(2024年3月)等です。本講演では、このような立法・司法の最新の動向をふまえ、国際的動向や地方自治体・当事者運動の成果も紹介して、大学・教職員・市民として取り組むべき課題について考えます。

問い合わせ: 豊橋技術科学大学ダイバーシティ推進センター 事務担当
TEL 0532-44-6502 Eメール syokuin@office.tut.ac.jp

【テーマ】「LGBTQ＋人権保障の課題
－司法の動向もふまえて－」
【講師】追手門学院大学教授 三成美保氏
【日時】2025年1月9日(木)
14時40分～16時10分

【内容】
LGBTQ＋の人権に関する法律整備や、国際的な動向、地方自治体の取り組み、当事者による運動について学び、今後の活動のあり方を考えました。



3

女子学生のためのランチ交流会(報告)

【日時】2025年5月15日(木)
12時05分～12時45分

【内容】
ダイバーシティ活動支援学生が主体となり、企画から運営までを実施。学年や所属を超えて、女子学生同士の交流を深め、大学生活や将来のキャリア形成に関する相談や情報交換をしてもうことを目的とする。



4

4

キャリアアップセミナー(報告)

【テーマ】「天職との出会いに導かれて」

【講師】本学特任理事 後藤景子

【日時】2025年7月8日(火)

14時40分～15時40分

【内容】

研究に打ち込んできた日々を経て管理職へとキャリアチェンジし、子育てと仕事を両立しながら活躍する管理職のロールモデルを紹介。自身のキャリアパスの参考にしてもらうことを目的とする。



主催
ダイバーシティ推進センター

キャリアアップセミナー

2025年

7月8日(火)

開催時間 14:40～15:40

会場 豊橋技術科学大学
A-111教室

講師:後藤景子 豊橋技術科学大学特任理事
「天職との出会いに導かれて」



1954年、性別役割分担は当たり前時代の時代に生まれました。国立女子大学家政学部に入學し、大学院博士課程修了まで女子大で過ごしました。大学院で女性教員の指導を受け、出産・子育てを経て大学教員への道に進みました。教育と研究、「天職」との出会いです。母校、教員養成大学、そして再び母校に勤務し、教育研究三昧の毎日でした。定年まで4年を残して国立高専校長となり、管理運営にスイッチしました。女性エンジニアを擁やし、男性エンジニアとのシナジー効果で「モノを超えてコトを創る」未来を夢見て、異分野の学びとコンテスト系大会などに力を入れました。私の人生は山登り、頂上に立てばすべてのものが俯瞰できると信じています。

男性のご参加も大歓迎です。ぜひご参加ください！

申込みフォーム

<https://forms.gle/rbUZYVxRtJEoPcFvY7>

※申込〆切: 7月4日(金)



◆問い合わせ◆
豊橋技術科学大学
ダイバーシティ推進センター
事務担当
TEL: 0532-44-6502
Email: syokuin@office.tut.ac.jp



5

シンポジウム開催のご案内

ダイバーシティと工学人材の社会的ニーズ

2025年
10月1日(水)

開催時間 14:00～16:00

会場 豊橋技術科学大学
A-114講義室



主催
ダイバーシティ推進センター



◆プログラム◆

・開会のあいさつ
若原昭浩(豊橋技術科学大学 学長)

・基調講演(講演30分+質疑10分)

講師:清水季子氏

(株式会社EmEco 代表取締役社長 / 株式会社豊田自動織機 社外取締役)

「A Story of Diversity in Japan - 3周遅れからのLeapfrogを実現するために -」

歴史的な転換点を迎えた世界において、日本が今後も健全な成長を続けていくために必要なもの。それは、日本の成長力の源泉である「人材」と「モノづくり」を強化すること。多様性を高めることは組織が変化し続けるための必要条件であり、そのためには力強いマイノリティの育成と冷静なマジョリティの調整の実現が求められる。

・豊橋技術科学大学OG講演(講演10分×3名+質疑10分)

川上千夏氏(株式会社島津製作所:電気・電子情報工学専攻修士修了)

碓井華帆氏(株式会社ウッドフレンズ:建築・都市システム工学専攻修士修了)

栗本侑依氏(日本ガイシ株式会社:環境生命工学専攻修士修了)

(現 応用化学・生命工学専攻)

・トークセッション

・開会のあいさつ
神保睦子(豊橋技術科学大学 理事・副学長、ダイバーシティ推進センター長)

申込みフォーム

<https://forms.gle/7KpJa9LXgYzWC2sT9>

※申込〆切: 9月26日(金)



◆問い合わせ◆
豊橋技術科学大学
ダイバーシティ推進センター
事務担当
TEL: 0532-44-6502
Email: syokuin@office.tut.ac.jp

(学内向け)

【テーマ】「ダイバーシティと工学人材の社会的ニーズ」

【講師】株式会社EmEco 代表取締役社長 清水季子氏
本学OG

【日時】2025年10月1日(水)

14時00分～16時00分

【内容】

日本の成長のため、社会が求める工学人材について、清水季子氏よりご講演いただくとともに、現場で活躍する技術者の先輩方からもお話を伺います。

5

6



- より働きやすく学びやすい職場環境のため、学内の意識や風土改革のための活動を行います。
- ダイバーシティ推進のための活動を地域や他大学と連携しながら積極的に行っていきます。
- ダイバーシティ推進のために、関連する情報を提供し「見える化」を行います。



2025年8月8日

夏型結露とは？

～建築に関わる環境の様々な課題～

<概要>

建築・都市システム学系建築環境デザイン研究室（島崎・田島研究室）では、建築に関わる都市環境、建築環境、室内環境において、とくに温熱、空気環境と、快適性向上やエネルギー消費量の削減を目的とした、研究開発を行なっています。

今年は特に東海地方以西で梅雨明けが早く、また酷暑が続いていることから、夏季の住宅等で発生する夏型結露の発生原理や、冬型結露との差異を会見にて田島昌樹教授から解説します。

<詳細>

夏型結露は、夏季の水蒸気量の多い外気が建築内外の冷たい部位にふれることで生じる現象で、その発生や、対策方法については、大学の建築環境工学に関する講義の範囲で十分な理解はできますが、対策には構法、材料、住まい方など関係する多くの知識が必要となります。

「夏型結露」とは（冬型との共通点と違い）

夏冬共通：結露の発生原理

空気中に含まれる水蒸気（気体）が冷たい部位に触れて、水（液体）になる

違い①：冷たい物体の表面で起こる「表面結露」

冬の例：ガラス窓や窓サッシなどで、室内側表面で起こる

夏の例：土間床、冷房等で直接冷やされた部位で、外気が直接触れる部位で発生

違い②：主に外壁の中で起こる「内部結露」、「壁体内結露」

冬の例：室内空気が、外気で冷えている壁体内に侵入して発生

夏の例：外気が、冷房等で直接冷やされた壁体内に侵入して発生

空気中に含まれる水蒸気量は夏と冬で差

地域によっても違うが、気象庁が公開している東京（大手町）の気象データから計算をすると平均値としておよそ下記のような量となる

1月：約 2 g/m³

8月：約 14 g/m³ この値は約 22℃の物体があれば結露する

日本の夏の暑さと「夏型結露」発生への影響

様々な要因によって、外気の水蒸気量が定まるため、確実であるとは言えないが、空気温度が高くなると、空気中に含むことのできる水蒸気量（飽和水蒸気量）が増し、暑い夏が続けば、外気の水蒸気量が増すことが考えられる。気象庁のデータでも東京の場合8月の水蒸気量は年々増加傾向にある。

「夏型結露」による住宅ダメージ

少々の結露であれば発生しても乾くように設計・施工されていることが一般的です。ダメージは大きくありませんが、長期的、かつ大量に結露が発生すると、木材が腐ってしまい、構造上の問題が発生することもある。これは夏型・冬型に関係なく大量の結露で木材が腐ってしまう例はある。

「夏型結露」による健康被害

夏型に限らず、結露によりカビの発生、ダニの発生、がよく言われる。

壁の中で発生する「夏型結露」に気付けるポイント

壁の中で発生する結露が室内側に浸透してきて、壁表面が湿っている、壁紙が剥がれる、壁の表面にカビが生える、黒ずむ、ということがある。

「夏型結露」対策

一般の方ができる対策として、住宅の内部結露の場合、冷房の設定温度を低くしすぎない、冷房の風が直接壁に当たらないようにするとよい。

ただし、現象はシンプルでも、要因が多岐にわたる場合があるので、住宅での発生は、工務店やハウスメーカーに相談することが良い（設計時や建築時に対策をとることが可能、新築時、改修時には住まい方をお伝えの上、技術者と対策を練ることも大事）

<研究内容>

研究室ではその他にも発電所、事務所、学校、屋外環境など様々な研究を行っています。特に夏季を対象として都市環境の改善（島崎准教授）、熱中症指数の改良、なども行っており、これらの研究成果についても一般公表できると考えております。



夏型結露とは？

～建築に関わる環境の様々な課題～

豊橋技術科学大学
建築・都市システム学系
教授 田島昌樹
e-mail: tajima.masaki.qt@tut.jp

はじめに：建築環境デザイン研究室

- メンバー
島崎康弘（准教授）
田島昌樹（教授）
- 建築に関わる環境（都市環境，建築環境，室内環境）において，とくに温熱，空気について，「快適性の向上」と「エネルギー消費量の削減」の両立を目的とした研究開発をしています
- 温度，湿度，気流，放射，日射，汚染物質の濃度等，に関する環境測定と，人間に関する測定を主な手法としています

はじめに：研究の具体的対象と目的

- 都市環境（熱環境の改善）
- 発電所（屋内環境の維持と空調の省エネルギー）
- 事務所ビル（屋内環境の実態把握）
- 学校（空気環境と省エネルギーの両立）
- 住宅（屋内環境と省エネルギーの両立）
- ヒト（衣服と快適性の把握）

今年の気象

- 東海地方以西で梅雨明けが早かった
 - 近畿地方（6/27頃，平年より22日早い）
 - 東海地方（7/4頃，平年より15日早い）
- 1898年以降の7月として最も高くなった

（気象庁発表）

- 夏型結露について，当大学への問い合わせが複数あった

結露

- 飽和空気（相対湿度100%の空気）が冷却されると、余分の水蒸気が凝縮すること
- 結露が生じると空気中の水蒸気（気体）は減り、水（液体）となる
- 大量の結露はカビやダニの発生の原因ともなる
- 冬季に暖房・加湿した家のガラス窓や窓サッシの周辺で見られることが多い

夏型結露と冬型結露

- 発生原理は夏冬共通
- 冷たい物体の表面で起こる **表面結露**
 - ✓冬の例：ガラス窓や窓サッシなどで、室内側表面で起こる
 - ✓夏の例：土間床、冷房等で直接冷やされた部位で、外気が直接触れる部位で発生
- 主に外壁の中で起こる **内部結露**
 - ✓冬の例：室内空気が、外気で冷えている壁体内に侵入して発生
 - ✓夏の例：外気が、冷房等で直接冷やされた壁体内に侵入して発生

夏型結露と外気中の水蒸気

- 地域によっても違うが、気象庁が公開している東京の気象データ（過去30年）から計算をすると平均値としておよそ下記のよう量となる

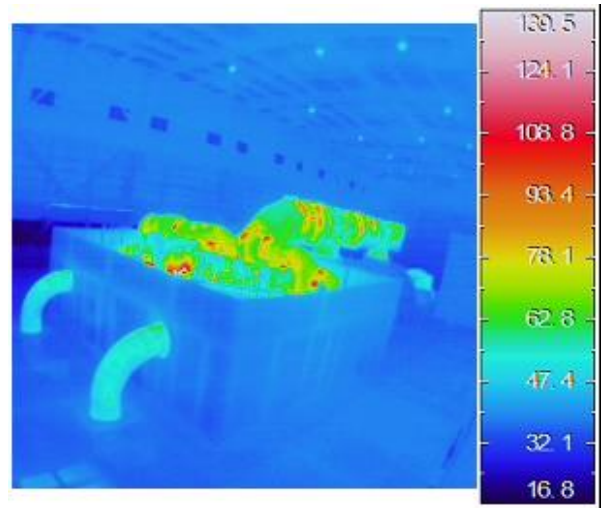
1月：約 2 g/m^3

8月：約 14 g/m^3 この値は約 22°C の物体があれば結露する

夏型結露の対策

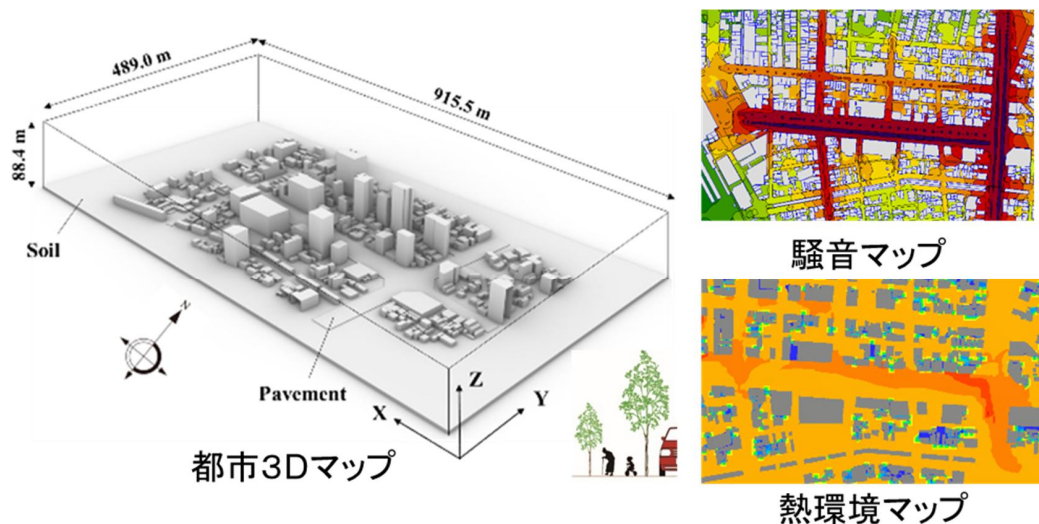
- 一般の方ができる対策として、住宅の内部結露の場合、冷房の設定温度を低くしすぎない、冷房の風が直接壁に当たらないようにするとよい
- 現象はシンプルでも、要因が多岐にわたる場合があるので、住宅での発生は、工務店やハウスメーカーに相談することがよい

夏と研究課題：建物内の暑熱環境調査



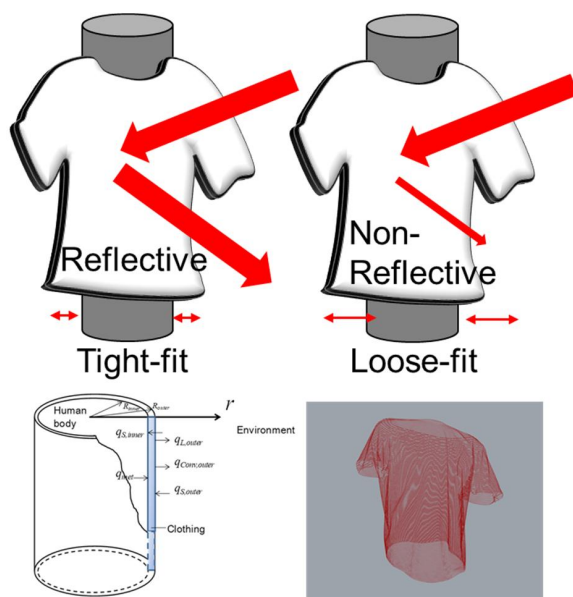
国立大学法人
豊橋技術科学大学

夏と研究課題：都市環境の改善



国立大学法人
豊橋技術科学大学

夏と研究課題：衣服と暑熱対策





2025年8月8日

とよはし☆ロボコンズ 大阪万博に出展します！

～とよはし☆ロボコンズの新たな挑戦～

<概要>

ロボット開発を行う学生団体「とよはし☆ロボコンズ」は、8月26日（火）・27日（水）に開催される大阪・関西万博にて、デモンストレーションイベントを実施します。「NHK 学生ロボコン 2025」で準優勝を果たしたロボット「RC」「RJ」などが登場し、機能紹介や迫力ある試合形式の実演、観客との3ポイントシュート対決を行う予定です。イベントは、XROBOCONの試合合間に各日15分、特別企画として開催されます。

<詳細>**【出演ロボット】**

- **RC (Stephen Curry Robot)**：正確な3ポイントシュートを得意とするロボット。大会中一度もシュートを許さなかった鉄壁の守りを誇ります。ドリブルも可能です。
- **RJ (Michael Jordan Robot)**：驚異的なアジリティと豪快なダンクシュートを披露するロボット。ドリブルも可能です。
- **RCv2**：カタパルト式の射出機構と鉄壁の守りを誇るロボット。(過去機体)
- **A1J**：RJのスペアとして制作されたロボット。RCv2と共にRCとRJの練習相手として活躍しました。(過去機体)

【企画内容】

- **機能紹介**：各ロボットが持つユニークな機能を詳しく解説します。
- **試合形式**：準優勝を果たした「RC/RJ」チーム対「RCv2/A1J」チームによる、臨場感あふれる2on2のゲームを実演します。
- **観客参加型イベント**：ロボット「RC」と来場者の皆様による3ポイントシュート対決を実施し、ロボット技術を身近に感じていただきます。

<今後の展望>

私たち「とよはし☆ロボコンズ」は、今回の万博でのデモンストレーションを通じて、ロボコンの魅力をより多くの人々に伝えたいと考えています。ものづくりの楽しさや、学生たちの熱意を発信することで、ロボコンがさらに有名になることを目指しています。

現在、多くの企業様と連携しながら活動しておりますが、ロボコン同好会の世界一へ向けての挑戦を応援してくださる個人サポーターも募集しております。





とよはし☆ロボコンズ 大阪・関西万博出場決定！



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会 とよはし☆ロボコンズ

目次

1. 「ロボコン」と私たちの活動
2. 大阪・関西万博への出場決定について
3. 万博で世界を驚かせるロボット概要
4. 実演内容
5. 私たちの思い



ロボコン同好会「とよはし☆ロボコンズ」

NHK学生ロボコンに出場し、
世界大会であるABUロボコンで世界一に
なることを目標に活動しています。

活動実績

NHK学生ロボコン：優勝9回

ABUロボコン2023（世界大会）：初優勝



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会

とよはし☆ロボコンズ

「ロボコン」と私たちの活動

2025年度競技 ロボット・バスケットボール



- ・ ロボットは自分チーム2台 VS 相手チーム2台（**2on2対決**）
- ・ **パス** or **ドリブル**をしてからシュート可能
- ・ **ダンクシュート**は特別に7点を得られる
- ・ ロボット同士が**ぶつかり合う**激しい試合展開

➡シュート精度、戦術、ロボットの剛性、現場対応力が
例年以上に必要



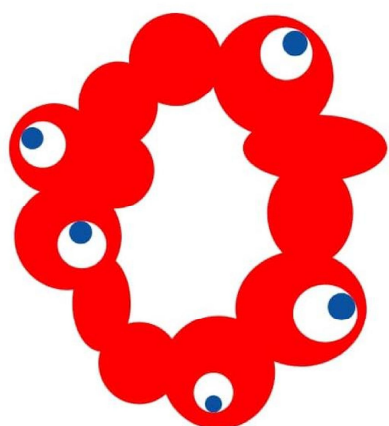
1. 「ロボコン」と私たちの活動
2. 大阪・関西万博への出場
3. 万博で世界を驚かせるロボット
4. 実演内容
5. 私たちの思い



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会 とよはし☆ロボコンズ

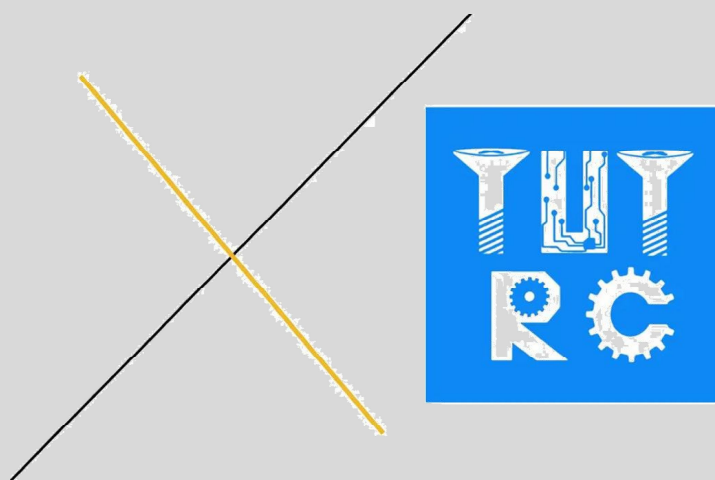
大阪・関西万博への出場

2025年大阪・関西万博出展が決定!



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025



日程：8月26日,27日

場所：EXPO Hall “Shining Hat”





新時代のロボコン「XROBOCON」

概要

- AI・ロボティクス・ゲームを融合させた全年齢型のロボコン
- 2025年大阪万博で決戦。世代と領域を超え、モノづくりの最先端に挑む。

競技内容「召喚！EXTREME相撲」

- 3層の円形土俵で、AIが操作するロボットによる1対1の対戦。
- 土俵上に散りばめられたコイン獲得数を競う。



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会 とよはし☆ロボコンズ

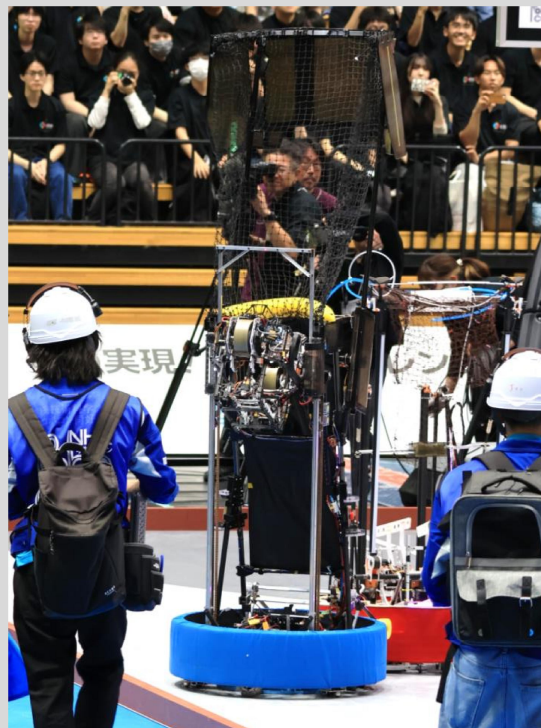
目次

1. 「ロボコン」と私たちの活動
- 2.大阪・関西万博への出場
- 3.万博で世界を驚かせるロボット概要
- 4.実演内容
- 5.私たちの思い



万博で世界を驚かせるロボット

- 高得点の可能性を秘めたダンクロボット(左)
- 堅実に得点を決める3ポイントロボット(右)



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会 とよはし☆ロボコンズ

万博で世界を驚かせるロボット

- 高得点の可能性を秘めたダンクロボット(左)
- 堅実に得点を決める3ポイントロボット(右)



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会 とよはし☆ロボコンズ

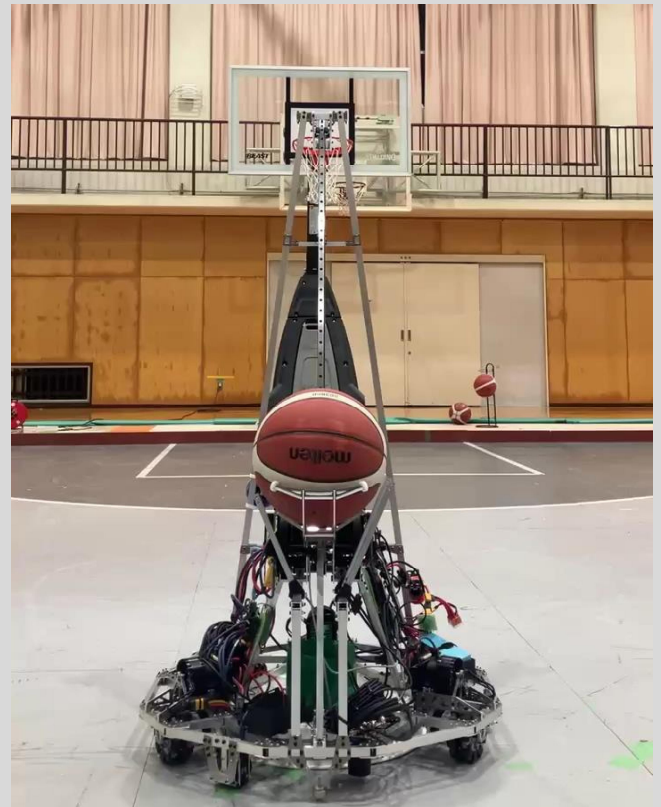
万博で世界を驚かせるロボット

万博にて “幻のロボット”初公開！

10台以上のロボットを
1年間で開発

→日の目を浴びなかったロボットも
数多く…

練習の中で活躍した相手役ロボットも
今回は登壇します！



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会 とよはし☆ロボコンズ

目次

1. 「ロボコン」と私たちの活動
2. 大阪・関西万博への出場
3. 万博で世界を驚かせるロボット概要
4. 実演内容
5. 私たちの思い



実演内容

1.各ロボットの機能説明

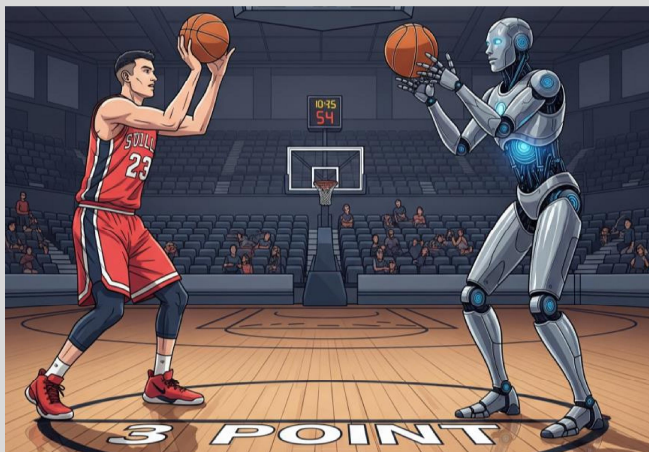
出場のロボットのユニークな動きや性能を解説

2.実践形式2on2

連携プレーや実戦での立ち回りを実践形式で披露

3.観客との3ポイント対決

ロボットの正確無比なシュート能力を肌で体感！



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会 とよはし☆ロボコンズ

目次

1. 「ロボコン」と私たちの活動

2.大阪・関西万博への出場

3.万博で世界を驚かせるロボット概要

4.実演内容

5.私たちの思い

私たちの想い

ロボコンの熱狂を、 日本中に！

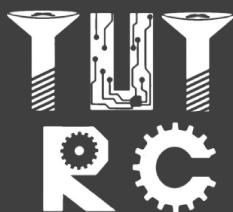
日本中の人々に、豊橋の学生の
技術力と情熱を見せ、
大きな驚きと感動を届けたい

→ものづくりの豊橋から世界へ



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会

とよはし☆ロボコンズ



豊橋技術科学大学 ロボコン同好会

とよはし☆ロボコンズ



<https://tutrobo.rm.me.tut.ac.jp/>



https://x.com/TUT_RC



<https://www.youtube.com/channel/UCmBuc5j5F7mn0g7WWpQqdlg>



<https://www.instagram.com/tutrobo/>



<https://www.facebook.com/tutrobocon>



2025年8月8日

**豊橋技術科学大学 学生有志チーム、
「魔改造の夜 THE MUSEUM」に出展****<概要>**

豊橋技術科学大学の学生有志チーム「とよはし☆魔改造プロジェクト」が、人気のテレビ番組「魔改造の夜」主催の企画展「魔改造の夜 THE MUSEUM」に出展します。本チームは、本学のロボコン同好会や TUT ものづくりサークルの学生が主体となって結成されたもので、製作した改造マシン2台を展示します。

本イベントは、2025年8月25日(月)から9月2日(火)までベルサール秋葉原で開催される、NHKの人気番組「魔改造の夜」の世界観をリアルに体験できる企画展です。

<詳細>

NHK で人気のテレビ番組「魔改造の夜」。その感動と熱気をリアルに体験できる企画展が「魔改造の夜 THE MUSEUM」です。会場では、番組に登場した数々の“モンスター”たちの展示や実演などが予定されています。

- 催事名：魔改造の夜 THE MUSEUM
- 会 期：2025年8月25日(月)～9月2日(火)
- 時 間：10:00～18:00
 - ※初日(8月25日)は11:30開館 / 最終日(9月2日)は16:00閉館
- 会 場：ベルサール秋葉原 (東京都千代田区外神田 3-12-8)
- 主 催：魔改造の夜 THE MUSEUM 実行委員会
- 公式サイト：<https://www.makaizo.net/>

■豊橋技術科学大学の出展内容

本学からは、学生が製作した以下のマシンを展示します。

- 競技名：電動マッサージ器 ドラッグレース
 - お題：電動マッサージ器を魔改造、25mコースを走らせタイムを競う
 - モンスター(マシン)名：黒い雷G
 - マシン概要：2本の電動マッサージ器の振動を利用し、3D プリンターで作成した柔軟なパーツによって床を蹴ることで走行します。左右のマッサージ器の出力を制御することで、方向転換も可能です。
- 競技名：ワニちゃん水鉄砲バースデーケーキろうそく消し
 - お題：水鉄砲を魔改造、7.5m離れた巨大ケーキに円状に立つろうそく10本を消す

- モンスター(マシン)名：ワニ大学ワニ学部
- マシン概要：圧縮空気の力を利用し、ノズルから放たれる水によってロウソクの火を高い精度で消火します。3機の水鉄砲が役割を分担することで、短時間かつ正確な消火を実現しました。



黒い雷G



ワニ大学ワニ学部

<今後の展望>

私たちは今後も、展示活動などを通じて、学生による「ものづくり」の成果を社会に発信し続けていきたいと考えています。

私たちの活動がより多くの関心と注目を集めることで、地域や企業との新たな連携が生まれるきっかけとなり、次世代の「ものづくり」を志す学生たちにとっての憧れや目標になれば嬉しく思います。

最終的には、こうした一連の取り組みを通じて、私たちの活動を支えてくださっている本大学の知名度向上にも貢献することを目指しています。





2025年8月8日

スタートアップ研究会の設置

～アイデア・ビジネスプランを多角的な視点で議論～

<概要>

本学では、社会に影響を与える「スタートアップ活動」を目指し、高専生や大学生が提案した「ビジネスアイデア」や「ビジネスプラン」について、多角的な視点で議論する研究会を設置し、社会実装、更にはスタートアップを目指すための施策をより深く議論します。その結果を、提案をした学生たちにフィードバックし、更に協議・議論を進めます。それにより、ビジネスプラン、および人材育成の質の向上を目指します。

<詳細>

「スタートアップ」活動が年々活発になってはいるものの、社会に影響を与えるような事例は非常に少なく、効果的な活動となっているとは言い難い現状である。各地でビジネスプランコンテストなどが開催されていますが、社会実装に結びつかない現状と、本当に重要な人材育成にも繋がっていないケースが多いと考えています。

我々はその要因として、以下のように考えている。

- ① 短期的な成果に偏ってしまう、または提案したプランに対するフォローが十分ではない(特に入賞していないプランに対して)。継続支援が不足しているため、アイデアが埋もれる。
- ② 1～数名のメンターによる伴走がほとんどで、考えに偏りが出てしまう。
- ③ 検討・議論の時間が少ない。
- ④ 見栄え重視になりがちであり、体裁を整えることを気にするあまり、アイデアの議論が不足しがちである。特に、本質的な議論、課題の深掘りができていない。
- ⑤ 起業することが目的になってしまっている。その上、失敗からの学びに繋がっていない。

我々はこれまで、高専生、大学生を対象とし、コンテストやスタートアップ講座、メンタリングを行ってきました。上記のような問題を踏まえ、コンテスト等のプログラムに取り組む意欲的な学生の提案のレベルアップ、および不安定な時代に社会で活躍できる人材の育成を目指す必要があり、本研究会の設置が必要と判断しました。

<今後の方針>

本研究会活動を通し、未来創造力、本質思考力、課題設定力、多角的思考力の習得を目指す。具体的には以下のように考えている。

- ① 未来創造力を養う：特に高専生や大学工学部の学生に関しては、科学技術の進化を予測し、自分たちの創り上げるべき未来を描けるスキルを身につける。
- ② 創造した未来を実現するための課題、創造する未来と現在とのギャップを埋める課題を考え、課題を構造化する。課題解決の進め方、ピボットのポイントなどを明確化する。
- ③ 課題の本質はどこにあるのか？ を問い(Why)を進めながら深掘りする。現状の課題、表面的な課題に拘り続けると、真に必要な議論ができなくなる。
- ④ 上記を踏まえて、視点を変えて提案内容を再検討してみる。

【目標】

- ・アイデアピッチコンテスト、ビジネスプランコンテスト等のレベルアップ
- ・上記コンテストから出たアイデアの社会実装
- ・これからの時代に必要となる人材育成

実践的ビジネス体験としての養蜂活動

～差別性の難しいテーマから多くの学びを得る～

<概要>

本学は、実践的ビジネス体験の場として、本年より養蜂活動を開始しました。養蜂は学生たちから希望のあったテーマのうちの一つです。ハチミツというテーマは、差別性が難しく、競合も多数存在するため、ビジネスとして考えると非常に難しいテーマですが、そこに多くの学びがあると考えています。ビジネス体験およびアントレプレナーシップ教育の実践的な学びを目的としています。

また、ハチミツは色々な食品との食べ合わせが非常に良く、現在検討中の健康食品にも活用可能と考えています。



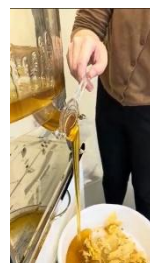
<詳細>

現在、若年層も含み「ビジネス体験」を積極的に行うよう様々なプログラムが存在しますが、本当の意味での体験になっているものは極めて限られている状況です。また、学生の起業によるビジネス体験も重要視されていますが、学業と研究が疎かになるケースも多々見られ、それが問題となることが多いのが現状です。

そこで我々の養蜂活動においては、専門の研究員を雇用し、学生と共に養蜂活動を行っています。この養蜂活動においては、以下の学びに繋がると考えています。

- 新しいビジネスの創出
- 価値化、差別化、ブランド化
- マーケティング戦略
- 経営
- 血糖値、腸内フローラなど、健康への貢献度(科学分析)
- 健康食品開発

現在は、採蜜が終わりシーズンオフに入ったところです。養蜂活動における今後の活動としては、特許出願などを進め、来年度の活動に向けた準備を行う予定です。



スタートアップ研究会の設置

～アイデア・ビジネスプランを多角的な視点で議論～

スタートアップ推進室
土谷 徹

豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室 (Startup Promotion and Development Office)

研究会設置の目的と概要

<目的>

- ◆ コンテスト開催における効果・全体レベルアップ
- ◆ アイデア・ビジネスプランを多角的視点で深く議論
- ◆ 見栄え、体裁重視からの脱却

<概要>

- ◆ コンテスト等に取り組む意欲的な学生のレベルアップ
- ◆ 提案内容を多角的な視点から議論し、学生にフィードバックする
- ◆ 各種プログラム、実践的取り組み、産学共創活動を支援する
- ◆ 未来創造力、本質思考力、課題設定力、多角的思考力の養成

豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室 (Startup Promotion and Development Office)

研究会メンバーに関して



座長	土谷 徹	豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室 室長
座長代理	山下良一	一般社団法人価値共創研究会 代表理事 豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室 客員准教授
メンバー	産業界で新規事業創出経験のある方々を選定 少数精鋭(10~15名程度)	

- ・今年度は、技科大チャレンジ、高専起業家サミットを中心にボランティアで行う
- ・来年度は、文部科学省または経済産業省の事業に取り組み、高専生、大学生の支援を社会実装に向けて具体化させる
- ・定期的に成果報告会を開催する

豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室(Startup Promotion and Development Office)



実践的ビジネス体験としての養蜂活動

～差別性の難しいテーマから多くの学びを得る～

スタートアップ推進室
土谷 徹

豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室(Startup Promotion and Development Office)

養蜂(ハチミツ)というテーマ

<目的>

- ◆ 実践的ビジネス体験、実践的アントレプレナーシップ教育
- ◆ より難しいテーマから多くの学び

差別性や価値化が難しいテーマ

競合が多数存在する

伝統・職人・経験値

} ここに多くの学びが存在する

科学技術による課題解決
ビジネス差別性・優位性

学生の教育・研究活動が疎かにならない
ように専門の研究員を雇用し、協力しながら
学び、活動を行う

豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室(Startup Promotion and Development Office)

養蜂(ハチミツ)の現状と今後

現在は、採蜜が終わりシーズンオフに入ったところです。
養蜂活動における今後の活動としては、特許出願などを進め、来年度
の活動に向けた準備を行う予定です

期待される学び

- 新しいビジネスの創出
- 価値化、差別化、ブランド化
- マーケティング戦略
- 経営
- 血糖値、腸内フローラなど、健康への貢献度(科学分析)
- 健康食品開発



豊橋技術科学大学 スタートアップ推進室(Startup Promotion and Development Office)



2025年8月8日

豊橋技術科学大学のロボット技術を一挙公開！

～TUT Robotics オープンラボ 2025～

<概要>

本学では、2023年4月より次世代半導体・センサ科学研究所（IRES²）社会実装部門の人間・ロボット共生分野において、次世代ロボット技術開発とロボット技術の社会実装を進めております。本学のロボット関連技術全体を気軽に見ていただける機会として、研究室の一般公開を引き続き実施いたします。地域の企業、自治体の方々やご興味のある方にぜひご来場いただければと存じます。

<詳細>

日時：2025年9月16日（火） 13:00～16:00

会場：豊橋技術科学大学

◆開会挨拶・全体説明 13:00～13:15

会場：A棟1階（A-114室）

人間・ロボット共生分野 分野リーダー 情報・知能工学系教授 三浦 純

◆研究室公開 13:15～16:00

会場：学内各研究室（機械工学系、情報・知能工学系、次世代半導体・センサ科学研究所）
ロボコン同好会（NHK ロボコン出場ロボット展示）

◆開催概要／お申込み

↓こちらのWebサイトからご確認・お申し込みください。

<https://robot.tut.ac.jp/openlab2025.html>

申し込み期限：2025年9月12日（金）

※ただし、締切り後も可能な限り対応させていただきます。



本件に関する連絡先

担当：次世代半導体・センサ科学研究所 社会実装部門人間・ロボット共生分野

E-mail openlab2025@robot.tut.ac.jp

豊橋技術科学大学

次世代半導体・センサ科学研究所

人間・ロボット共生分野

オープンラボ 2025

◆開会挨拶・全体説明 (13:00 - 13:15)

会場：A-114 室

人間・ロボット共生分野 分野リーダー 情報・知能工学系 教授 三浦 純

◆研究室公開 (13:15 - 16:00)

会場：学内各研究室 (機械工学系, 情報・知能工学系, 次世代半導体・センサ科学研究所)
ロボコン同好会 (NHK ロボコン出場ロボット展示)



Event Details



2025 年
9 月 16 日 (火)



13:00 - 16:00



豊橋技術科学大学

【申し込み方法】

右下の 2 次元コードを読み取り, オープンラボ 2025 のページからお申込みください

<https://robot.tut.ac.jp/openlab2025.html>

【申込期限】 2025 年 9 月 12 日 (金)

【参加費】 無料

【問い合わせ】

豊橋技術科学大学 人間・ロボット共生分野

E-mail openlab2025@robot.tut.ac.jp



令和 7 年（2025 年）度 定例記者会見日程

第 1 回	4 月 1 8 日（金）	1 0 : 3 0 ～	事務局 3 階大会議室
第 2 回	8 月 8 日（金）	1 0 : 3 0 ～	事務局 3 階大会議室
第 3 回	1 0 月 1 7 日（金）	1 0 : 3 0 ～	事務局 3 階大会議室
第 4 回	1 2 月 5 日（金）	1 0 : 3 0 ～	事務局 3 階大会議室
第 5 回	2 月 2 6 日（木）	1 0 : 3 0 ～	事務局 3 階大会議室

定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以 上